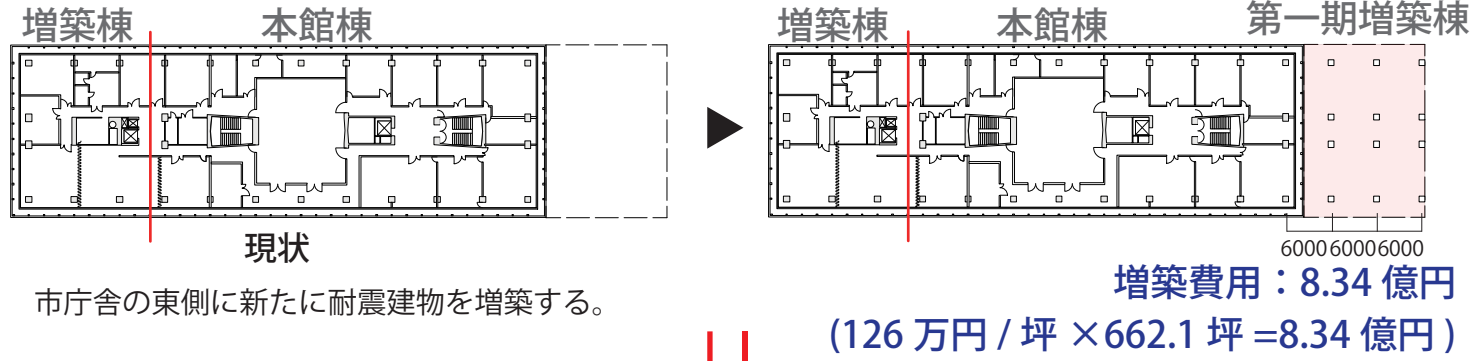


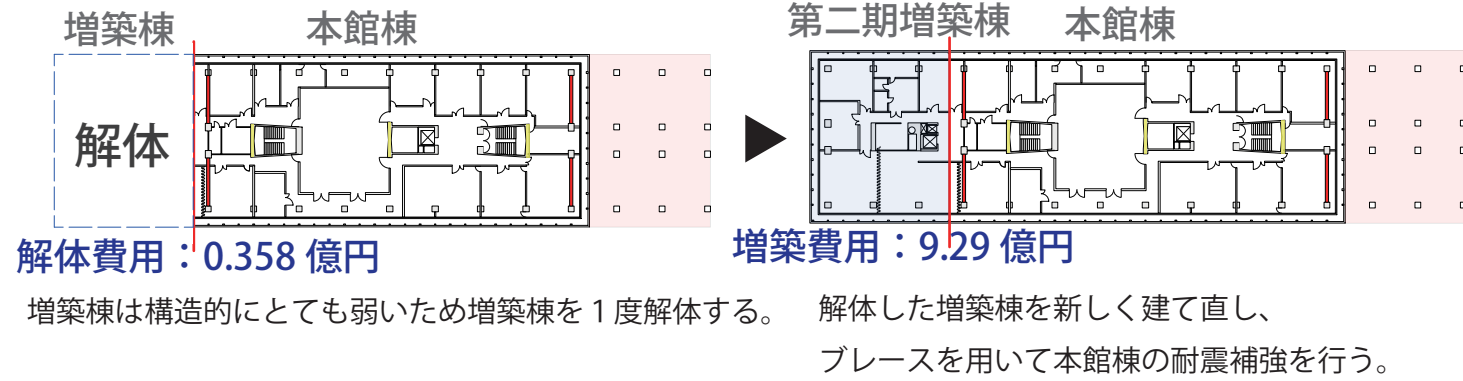
尾道市庁舎増築計画 (12000m²)

第一期 市庁舎：東側耐震建物増築

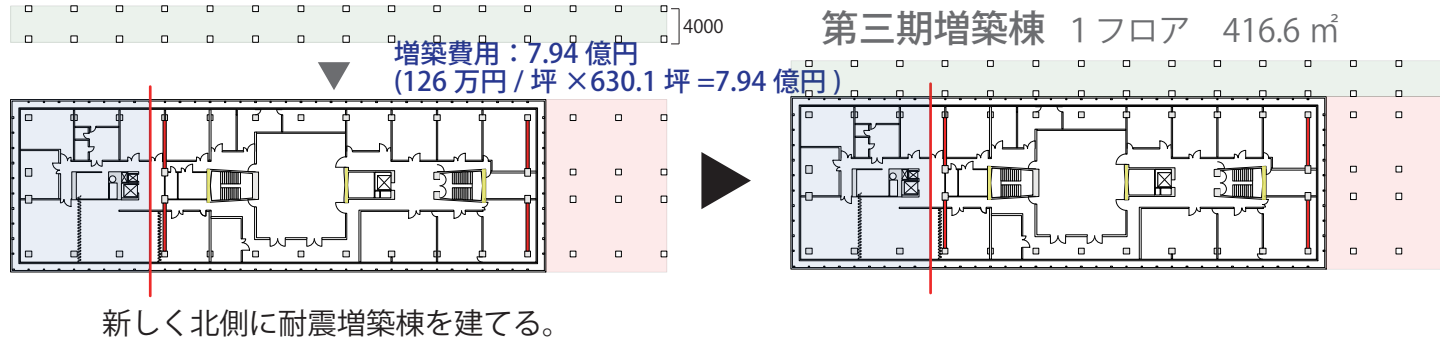


市庁舎の東側に新たに耐震建物を増築する。

第二期 市庁舎：旧増築棟解体後、西側耐震建物増築



第三期 市庁舎：北側耐震建物増築



経済性

事業費
市の進める従来の案
52 億円

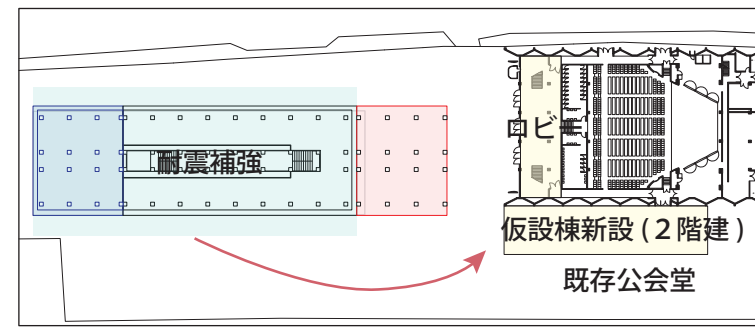
約20億の
差額

事業費
①現公会堂ロビー + 仮設棟案 30.50 億円
②公会堂改築案 33.28 億円

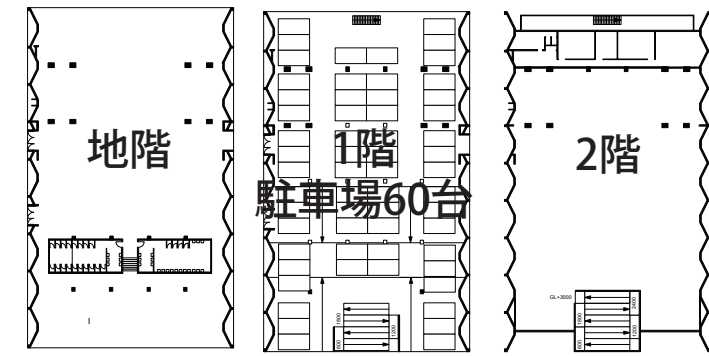
第二期建設時仮設計画

第二期工事過程において庁舎の耐震補強時の仮設庁舎の計画として
①現公会堂ロビー+仮設棟案 ②公会堂改築案の2案を提案する。

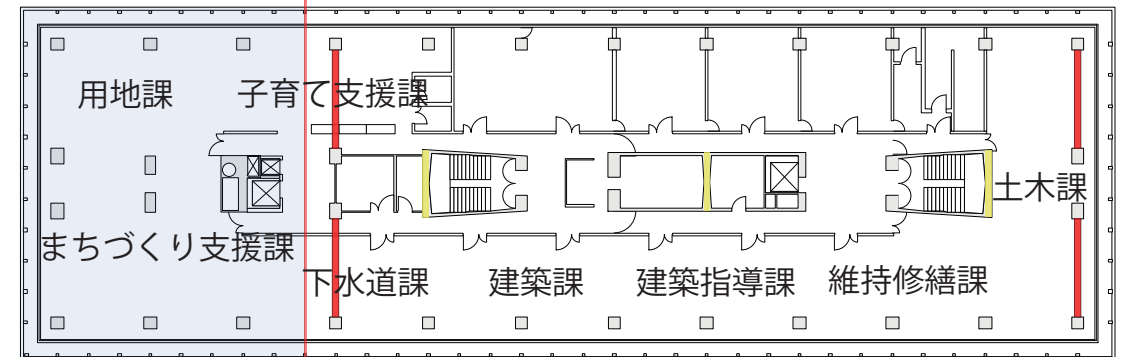
① 現公会堂ロビー+仮設棟案



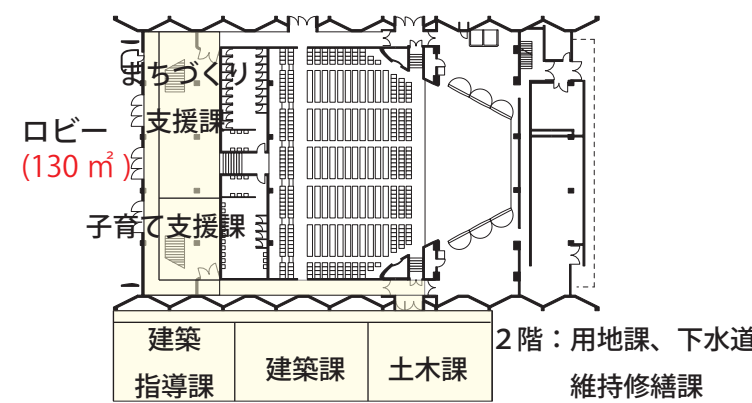
② 公会堂改築案



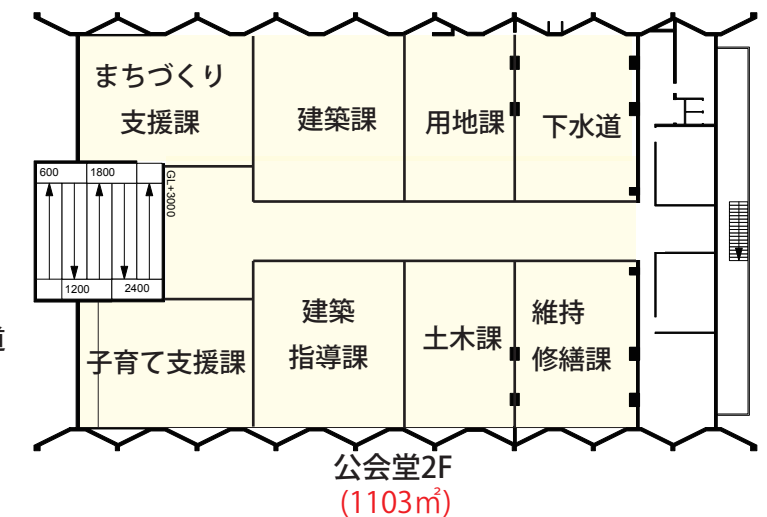
(例) 市庁舎3階工事中



耐震補強中
市庁舎3階の機能を
それぞれ移転する場合

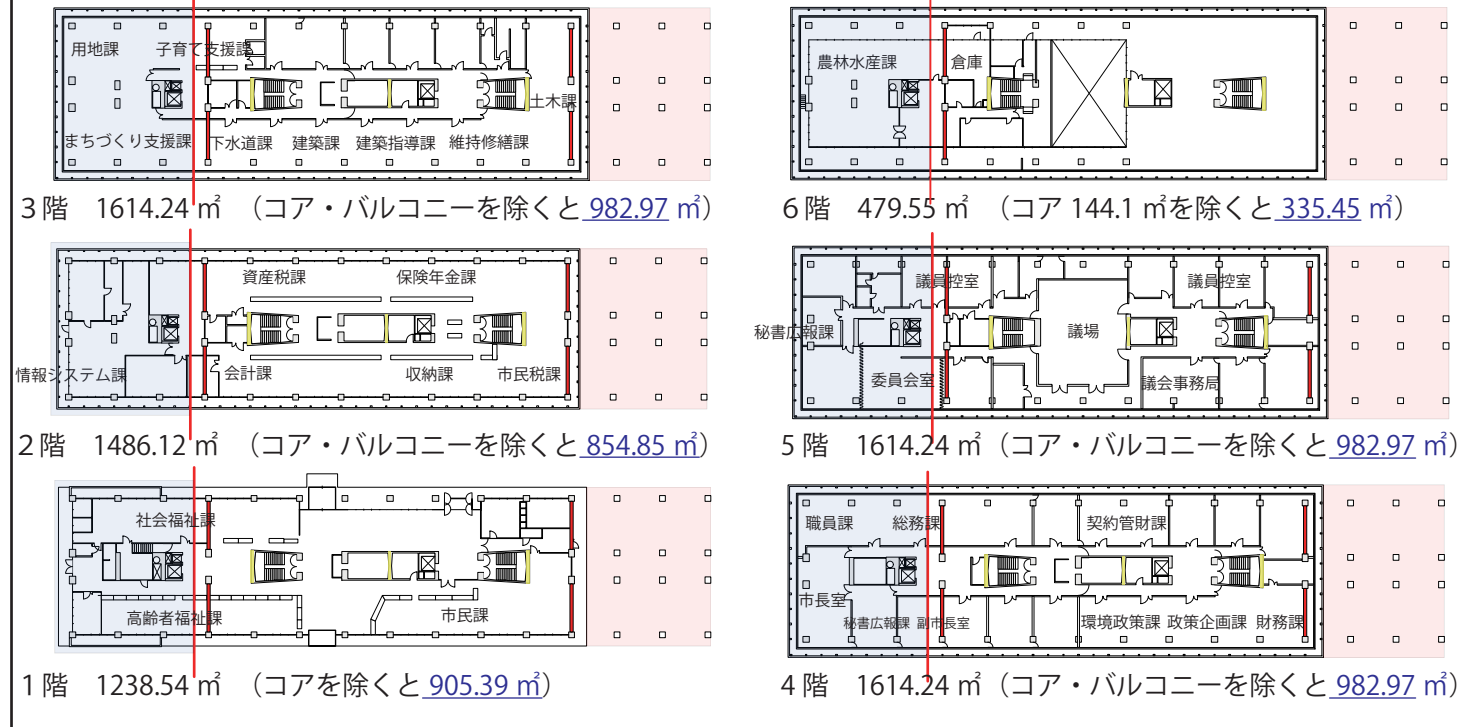


市庁舎本館耐震補強費用：0.77~1.1億円
公会堂改装、仮設庁舎費用：0.68億円



市庁舎本館耐震補強費用：0.77~1.1億円
公会堂平土間改築：3.46億円

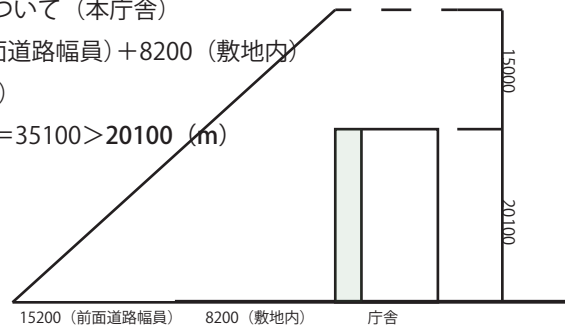
現庁舎各階平面：各階順に耐震補強を行う



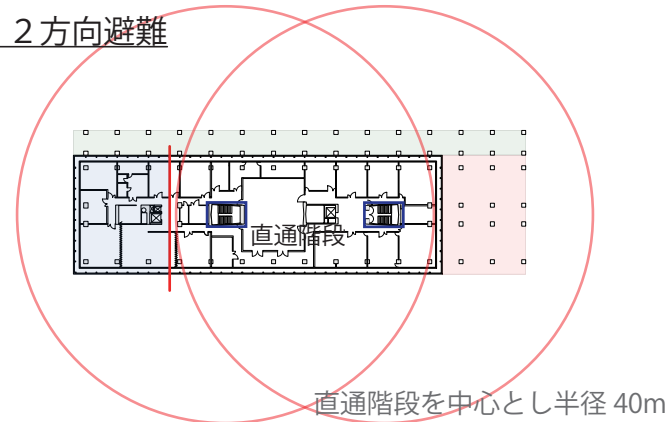
法規定

斜線制限

斜線制限について（本庁舎）
 15200 （前面道路幅員）+ 8200 （敷地内）
 $=23400$ （m）
 $23400 \times 1.5 = 35100 > 20100$ （m）



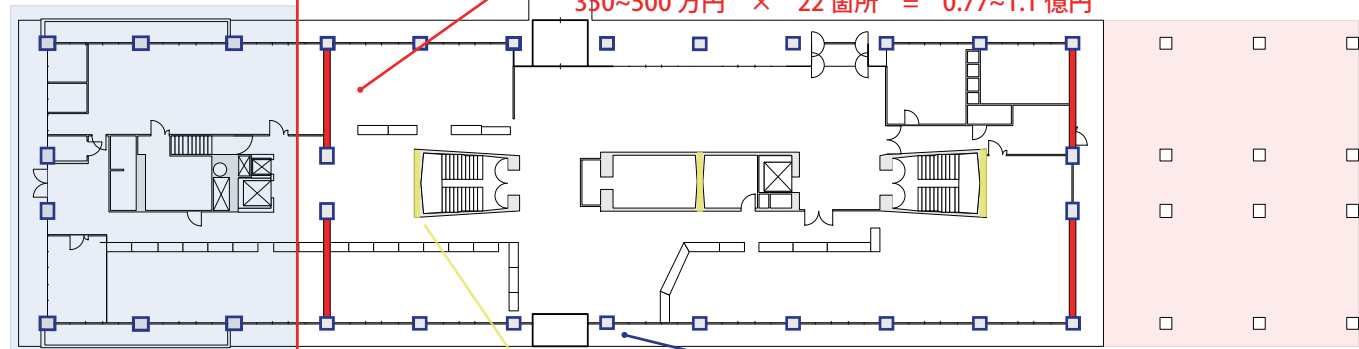
歩行距離・2方向避難



耐震補強

各階4箇所(6階は2箇所)ブレースによる耐震補強
 補強費用：0.77~1.1億円+a

一箇所当たり
 $350 \sim 500$ 万円 \times 22箇所 = 0.77~1.1億円



耐力壁として計算

1階の柱は鉄筋の防錆処理を行い、
 ポリマーセメントで埋め直す
 補修費用：1210万円
 柱の表面積 柱の本数 費用 (/ m²)
 $(0.8 \times 3 \times 4) \times 36 \times 35000 = 1210$ 万円

事業費内訳

① 現公会堂ロビー+仮設棟案

経済性	事業費	30.50億円
	ア. 工事費	25.93億円
	ア. 工事費÷床面積 地下駐車場含まない	1,260,000円(円/坪)(建替え案②b、②cより)
第一期工事	東側増築棟(耐震構造)	8.34億円(126万円/坪×662.1坪増築)
第二期工事	旧西側増築棟解体費	0.358億円(1.1億円×旧・増築棟面積/市庁舎面積))
	西側増築棟(耐震構造)	9.29億円(126万円/坪×737坪新築)
第三期工事	北側増築棟(耐震構造)	7.94億円(126万円/坪×630.1坪増築)
	1階の柱の補修費用(本館棟)	0.12億円
	ブレースによる耐震補強	0.77億円
	イ. 公会堂解体費	0.0億円
	ウ. 来庁者駐車場用地使用料	0.5億円
	エ. 公会堂改装、仮設庁舎	0.68億円
	オ. その他	2.5億円(建替え案②bより)

② 公会堂改築案

経済性	事業費	33.28億円
	ア. 工事費	25.93億円
	ア. 工事費÷床面積 地下駐車場含まない	1,260,000円(円/坪)(建替え案②b、②cより)
第一期工事	東側増築棟(耐震構造)	8.34億円(126万円/坪×662.1坪増築)
第二期工事	旧西側増築棟解体費	0.358億円(1.1億円×旧・増築棟面積/市庁舎面積))
	西側増築棟(耐震構造)	9.29億円(126万円/坪×737坪新築)
第三期工事	北側増築棟(耐震構造)	7.94億円(126万円/坪×630.1坪増築)
	1階の柱の補修費用(本館棟)	0.12億円
	ブレースによる耐震補強	0.77億円
	イ. 公会堂解体費	0.36億円
	ウ. 来庁者駐車場用地使用料	0.5億円
	エ. 公会堂平土間改築(1階駐車場)	3.1億円
	オ. その他	2.5億円(建替え案②bより)